

岩国市救急医療の現状について

平成23年3月26日

藤本循環器科・内科 院内講演

(資料提供：岩国市消防本部、岩国医療センター)

岩国消防の救急出動件数推移

昭和37年	231
昭和47年	1,201
昭和57年	3,598
平成4年	4,535
平成14年	6,764
平成17年	7,597
平成21年	7,032
平成22年	7,413

山口県

- 救急件数 2010年 60043 (前年比95%)
- 現場到着時間 平均 8.1分
- 病院収容所要時間 平均 32.8分
- 救急車による急病搬送人数 32675人中死亡1.7%
- 重症 9.8%、中等症 44.6%、軽症 43.9%

岩国市の搬送者中 軽症 割合 22年 $2417 / 6991 = 35\%$

搬送者中高齢者割合

平成22年 高齢者 $4239 / 6991 = 60\%$

岩国医療センター (22年4月～2月末)

	内科	その他	計
軽症	4223 (65%)	8382	12605 (77%)
中等症	932	846	1778
重症	1275	634	1909
死亡	60	11	71
計	6490	9873	16363

岩国地区の突然死の現状

交通事故死亡

9人 (平成20年)

内科的突然死

95人 (平成20年) : 4日に1人が突然心肺停止

岩国市平成12年5月1日～18年4月30日の突然死では 計 442名

頻度 46.0人/10万人・年、 平均年齢 71±18歳

性別 男性243名>女性199名

突然死の起こった場所： 自宅 80%

原因： 73.5%が内因性=心臓に原因

岩国地区 平成19年度では

急性心筋梗塞 12例 (16%)、 不整脈 6例 (8%)、その他の心疾患6例 (8%)

不明：ほとんどは心原性と考えられる 26例 (34%)

心疾患以外 34%

突然死の人が病院に着いた後岩国市圏内の場合 生存退院3-4%

米国シアトルの場合 生存退院30-40%

この違いはなぜか？

119番通報の遅れ→通報までに平均6.5分

隣人による心肺蘇生の開始の遅れ、やり方も不十分 →蘇生開始までに平均8分

除細動器の使用率が低い

医師会病院救急センターの現状

- 開業医内科系35名、外科系16名で平日19-23時と、日曜・祝日の手伝い。
- 平日23時～本院当直医1名で全科当直対応(医師18名)
- 土日・祝日は山口大学から応援医師4名(内科系2名・外科系2名)の予定だが、入局医師減少で開業医・勤務医が応援穴埋めに。
- 年間10000人の救急を診察。

岩国医療センターの現状

- 年間26000人の救急診療(午後～)
- 医師数84名(研修医を除く)だが、循環器科内科は一般内科当直しないなどで人員が制限されている。
- 眼科などここでしか救急は受けられないが医師数は減少している。
- 軽症患者が多い。
- 対策として4月から選定療養費を5250円に。

不要不急の救急車要請や救急受診を控えましょう。

岩国市では軽症の患者さんの受診を減らせるよう、救急医療対策協議会を設立し取り組んでいます。